

被表彰団体の主な活動内容等

	団体名	主な活動内容
学 校	江津市立郷田小学校 ○学級数 8学級 ○児童数 91人 ○島根県学校図書館活用教育 研究事業研究校(R2)	○「『学校図書館活用教育』を中心とした言語活動の充実」を校内研究の柱に位置づけて、学校図書館館長である校長の指揮の下、司書教諭と学校司書とが協働し、児童が利用しやすいよう学校図書館の整備を進めると共に、全教職員で計画的・組織的に学校図書館を活用し、言語能力、情報活用能力の育成に取り組んでいる。「思考ツール」の活用を位置づけた「学校図書館どのように学ぶか系統表」を作成し、課題を設定する力や情報を整理・分析する力の育成を図っている。 ○朝読書や地域ボランティアによる読み聞かせを行うとともに、月別のテーマ掲示や関連図書の展示、学校図書館前スペースを利用した新着図書の紹介コーナー設置、児童会活動（図書委員会）との連携によるイベントの実施など、読書活動の充実を図っている。
	安来市立第一中学校 ○学級数 16学級 ○生徒数 423人 ○島根県学校図書館活用教育 研究事業研究校(R1～R2)	○校長をトップとした学校図書館部が組織され、学校全体で計画的に図書館活用教育や読書活動に取り組んでいる。複数の司書教諭と学校司書を中心に教職員が共通理解を図り、整備された「情報活用スキル体系表」や年間活動計画をもとに各教科で図書館を活用した授業が行われている。数学科、英語科、理科など、これまで図書館活用の事例が少なかった教科の授業実践が行われ、他校への啓発にもつながっている。 ○全校一斉朝読書、ブックトークや味見読書の実施、生徒会と連携した読書イベントの開催や本の紹介活動など、読書を推進する活動も積極的に行い、読書に対する生徒達の興味・関心、意欲を高める取組も活発に行っている。
図 書 館	西ノ島町 コミュニティ図書館 ○開設 平成30年7月 ○職員数 9人	○子どもの読書環境を整備する事業を積極的に行い、開館当初から子ども向けの各種活動を始めるとともに、保育園との交流を進めるなど、地域の子どもたちへの図書館サービス事業を事業の中心として取り組んでいる。 ○海を望む立地を活かし、図書室以外の多目的・多機能な部屋を配置し、保育園や学校、地域を巻き込んだ事業を展開することにより、町民にとって身近な場所となっており、人々の交流を促進する役割も果たしている。 ○その取組は高い評価を受け、表彰式を兼ねて東京で開催される「子どもの読書活動推進フォーラム」において、今年度の全国優秀実践図書館46館の代表として、事例発表や資料展示が行われた。
団 体	おはなしバウム ○発足 平成16年4月 ○会員数 14名	○子どもたちにとって確かな栄養となり、生きていく力となる昔話を、語りという形で届ける活動に長年に渡って取り組み、図書館や市内全域の幼稚園・小学校に出かけてのおはなし会を積極的に開催している。 ○グループ独自での勉強会を継続しているほか、図書館主催の研修会にも積極的に参加して研鑽をつんでいる。豊富な経験を持ちながらも、更に新しいお話に挑戦して意欲的に語り、また後輩の語りにも的確な助言をするなど、他の読み聞かせグループの良きお手本となっている。

(学級数及び児童数は令和3年5月1日現在)